

# 岐阜大など17大学入試

## 「過去問」互いに再利用

## 労力節約、奇問を排除 08年度導入

岐阜大を中心とする17の国公私立大学が、入試で過去に出題した問題を互いに利用できるようにするネットワークをつくり、全国の大学に参加を呼びかけている。各大学の「過去問」を共有財産と位置づけ、相互利用を可能にすることで、入試問題作成に要する時間や労力を節約しようという狙いだ。17大学は08年度入試からの導入を予定しているが、「難問奇問が減り、良問が増える」と評価する意見がある一方で、「受験生が過去問あさり」に熱中するようになる」と懸念する声もある。

(阪本輝昭)

過去問利用のネットワークづくりは、05年11月に開かれた国立大学協会総会で、岐阜大の黒木登志夫学長が非公式に趣旨を説明。賛同したお茶の水女子大、名古屋市立大、順天堂大などが昨年5月、「入試過去問題活用宣言」に合意した。

過去問相互利用は08年度入試からとする▽そのまゝ使用することも一部改変して使用することも可能▽受験生に対し、過去問を活用することを入試要項などで事前に公表する――など。最終的に導入を決めた17大学が連名で昨年10月、全国の約400大学に参加を要請

する文書を送った。大学の教員にとって、問題作成に要する負担は重い。国立大の場合、教員の中から選ばれた委員が、過去に他大学で同様の問題が出題されていないかなどをチェックしながら問題を作る。

岐阜大では、全教員の約8分の1にあたる約100人の教員が半年近くかけて問題を作っている。その間、研究や授業がほとんどできなくなる。教員もいるという。90年代以降、入試方法の多様化や受験機会の複数が多く、大学の進み、問題の種類や作成回数が増加。教員の負担が増し、数年前からは大手

■「大学入試過去問題活用宣言」の提案大学  
 【国立】旭川医科大学▽弘前大▽岩手大▽秋田大▽山形大▽宇都宮大▽お茶の水女子大▽山梨大▽信州大▽静岡大▽岐阜大▽滋賀医科大学  
 【公立】岐阜薬科大▽名古屋市立大  
 【私立】桜美林大▽順天堂大▽日本医科大学

朝日新聞  
 2007年1月28日(朝刊)  
 ※無断転載不可

## 不参加校も成果に関心

予備校に問題作成を外注する大学も現れていた。現在、全国の約50大学から回答が岐阜大に届いているが、「参加したい」とする回答と、「今回は見合わせる」という回答

が半々くらいだという。受験現場の反応は様々だ。「難問・奇問が減り、良問に当たるケースが多くなる。受験生にとって、的を絞るやすくなるメリットもある」(予備校関係者)と期待を寄せる声がある一方、「受験生が過去問あさりに走り、過去に受験した大学によっては、受験者間で不公平が生じる可能性がある」(大阪府内の私立高教員)。

ネットワークに参加する名古屋市の向井清史理事は「高校の学習指導要領の範囲が大きく変わらぬので、良い問題はネタ切れになりつつある。過去の良問を少しひねった形で使うなどして生かせるのは大きい」と期待を寄せる。ホームページ

17で参加大学の一覧を示し、それぞれ過去問を公開する仕組みをとるなどして、「受験生間に不公平がないよう最大限配慮する」としている。一方、名古屋大学の杉山寛行理事は「大学としてどんな学生を求めているかを表現するのが入試問題。大学間で受験生も異なり、他大学の過去の問題が必ずしも別の大学で良問かどうかは分からない」と言い、当面は不参加を決めた。ただ、「複数の大学で問題の善しあしを検討できるのはメリット。その成果に関心を持って」と話す。